

ませ親盆の母に写経の墨をする 高橋廣子

お盆の季節になりました。特に初盆を^おお遣えのお家にとっては、様々な思いが蘇ってこられるのではないかと思います▼あつという間に、令和5年の半年が過ぎました。コロナコロナの3年でしたが、気がつけばロシアのウクライナ侵略戦争に円安による物価高騰、日本各地での災害と、待った無し課題が山積みであります。困難な状況もありますが、ようやく本堂大屋根の改修も盆明け頃から始まる予定にはなっております。

インタビュー

臨済宗では広く行われている禅の修行に「独参^{どくさん}」という行があります。坐禅中にどうしても老師に自分の心の境涯を確認して頂きたい時、老師の部屋に入り、お拝をして恭しく質問するとう修行があります。アメリカの禅堂では特に好まれて、老師の部屋の前で我も我もと列をなしています。部屋で何が話されているのかは分かりませんが、西洋人の国民性からか、感情が高

ぶり、泣いたりわめいたりということも多々あります。その「独参」という深遠な行を英語で「インタビュー」と訳しているのですが、どうも軽々しく感じてしまつて訳語というのには違和感を持っています。しかし、最近ふと思いついて、インタールとは「相互の間に」という意味で、ビューは「見解」であつたり「境涯」であるので、お互いの見解と見解がバチバチとぶつかり合う、生き生きとした言葉なのではないかと思ひ至りました。ついつい和製英語に引つ張られて本来の意味を誤解していることがあるのではないかと思ひました。

■別紙の通り、お盆行事につきましては通年通りのお勤めをさせて頂きますが、棚経等でご事情により変更を希望されるお家はどうぞお申し出ください。

■8月8日の施食会につきましては、本年も密集を避けるという意味もあり、また、庫裏が工事中であり、部屋割りが難しい為にある程度の人數制限をさせて頂く事になるかと思ひます。なお、初盆の施主家におかれましては、個別にご案内を致しますので、同封の用紙は使つて頂く必要はあり

令和5年7月仏縁日

妙智山 円覚寺

妙智山 円覚寺